

いのちとくらしをまもる
防災減災

令和7年10月22日14時00分
近畿地方整備局
豊岡河川国道事務所

平成16年台風第23号メモリアル「防災学習会」を開催
～過去の水害を振り返り、近年激甚化・頻発化する水害にどう備えるかを考える～

豊岡市において甚大な被害をもたらした平成16年台風第23号の大水害を振り返り、得られた教訓を次世代につなげることを目的に毎年、防災学習会を行っています。

今年は、災害情報学等を専門とする有識者による基調講演をはじめ、当時災害対応に従事した職員、学生の時に被災した職員、気象予報士として活動するとともに流域治水の取り組みや防災教育を発信する流域治水アンバサダーをパネリストとして迎え、様々な目線でパネルディスカッションを行います。

この学習会を通じて、近年全国各地で激甚化・頻発化する水害に今後どう備えるかを考えます。

- 開催日時： 令和 7年 11月 10日（月）18：30～20：45（開場18：00）
- 開催場所： 本会場 豊岡市民プラザ 定員200名（兵庫県豊岡市大手町4-5 アイティ7階）
※当学習会は後日、YouTubeにてアーカイブ配信します。下記URLからご覧ください。
<http://toyooka.bousaiseminar.jp>
- 申込みについて： 事前申込み制となります（参加無料）。
別紙QRコード又は豊岡市危機管理課（Tel 0796-23-1111）へお申し込みください。
なお、当日会場の席に余裕がある場合は事前申込みされていない方もご参加可能です。
- 取材について： 取材は事前登録が必要になりますので、下記問合せ先までご連絡願います。
傍聴・撮影は可能ですが、フラッシュはご遠慮ください。
- CPDS認定について： 本会場での受講に限り、CPDS認定講習（2ユニット）です。
受講証明書を希望される方は、「CPDS受講証明書希望」と記載し、別紙QRコードからお申し込みください。
当日は本人確認ができるものをお持ちください。
- 共催： 豊岡市、兵庫県但馬県民局、国土交通省近畿地方整備局豊岡河川国道事務所

<取扱い> _____

<配布場所>

但馬県民記者クラブ、豊岡市政記者クラブ
養父市政記者クラブ 朝来市政記者クラブ

<問合せ先> 国土交通省近畿地方整備局 豊岡河川国道事務所

副所長（河川） 宮崎 元紀
流域治水課長 山添 裕幸
Tel 0796-22-3126（代）

写真 左) 平成16年台風第23号襲来時:2004/10/19の衛星写真(NASA、台風進路を破線で追記)
右) 平成16年台風第23号の大雨によって決壊した円山川・立野地点(豊岡河川国道事務所)

CPDS 認定講習

平成16年台風第23号メモリアル事業

防災学習会

過去の水害を振り返り、
近年激甚化・頻発化する
水害にどう備えるかを考える

企画

基調講演

荒ぶる気象災害にどう備えるか
～平成16年台風23号で
被災した豊岡で考える～

東京大学大学院情報学環 特任教授
片田 敏孝 氏



パネルディスカッション

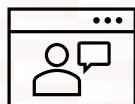
台風23号を振り返り、
台風・洪水に備える

当時の災害対応にあたった方や、被災経験のある方、
現在の防災に従事する方にご登壇いただきます。



配信

下記の URL または二次元バーコードの
アクセス先にて配信します。



<http://toyooka.bousaiseminar.jp>

※配信は、開催から数日後以内に開始します。
なお、配信期間は配信開始から1か月間を
予定しています。

※アクセス先のブックマーク等をお願いします。



2025年(令和7年)

11月10日
18:30 ~ 20:45

< 開場18:00 >

豊岡市民プラザ
(アイティ7階)

当時の被災状況や、地域・行政が歩んできた
ことを振り返ることで、水害の恐ろしさと、
備えの重要性を再認識します。

近年、雨の降り方は確実に変わっています。
過去の経験を土台としつつ、激甚化・頻発化
する水害への最新の知識と、地域として、
個人として何ができるかを考える機会と
して、役立てていただければと思います。



写真 令和6年度「防災への思い」におけるパネルディスカッションの様子

共催

豊岡市、兵庫県但馬県民局、国土交通省 近畿地方整備局 豊岡河川国道事務所

申込み・問合せ

豊岡市 危機管理部 危機管理課 TEL 23-1111(代表) / FAX 24-5932 / E-mail bousai@city.toyooka.lg.jp

登壇者



基調講演・コーディネーター

片田 敏孝 KATADA Toshitaka

東京大学大学院情報学環
特任教授

専門は災害情報学・災害社会工学。
災害への危機管理対応、災害情報
伝達、防災教育、避難誘導策の
あり方等について研究するとともに、
地域での防災活動を全国各地
で展開している。



パネリスト

岡崎 慎一 OKAZAKI Shinichi

平成 8 年 4 月建設省近畿地方建設局
(現 国土交通省近畿地方整備局)
に入省。平成 15 年 4 月から 5 年間、
豊岡河川国道事務所調査係長と
して勤務。

平成 16 年台風第 23 号洪水後、
円山川や出石川の堤防調査や、
再度災害防止のための河川整備に
従事。



パネリスト

山内 夢斗哉 YAMAUCHI Mutsuki

平成 28 年 4 月に豊岡市役所へ入庁。
平成 31 年 4 月には防災課(現・
危機管理課)で消防担当を経験し、
消防業務や危機管理業務に携わった。
令和 2 年からは豊岡市教育委員会
に所属し、子どもの健やかな成長
を支える運動支援事業に従事。

小学 5 年生の時に台風第 23 号を
経験。自宅の床上浸水などの被災
経験から、防災意識の大切さや
地域のつながりの力を強く実感。

参加
無料

定員 200 名

参加ご希望の方は、申込み先まで、氏名・
住所・連絡先(電話番号等)を添えて
お申込みください。

- ・会場参加の申し込みは、定員になり次第、
締め切らせていただきます。
- ・当日に会場の席に余裕がある場合は、事
前申し込みされていない方もご参加可能
です。
- ・問合せ先へお電話での申込みも可能です。
- ・CPDS 認定講習で実施予定です。



パネリスト

垣江 重人 KAKIE Shigeto

豊岡市生活環境課長、防災課長、
防災監を歴任。平成 31 年 3 月に
退職。在任時(平成 26 年)には
内閣府「避難勧告等の判断・伝達
マニュアル作成ガイドライン検討会」
の委員なども務めた。

台風第 23 号時には、生活環境課で、
年間ごみ量に匹敵する災害廃棄物
の対応に務めた。



パネリスト

澤 麻美 SAWA Asami

流域治水アンバサダー



千葉県出身。平成 31 年から、福岡
のテレビ西日本に出演。特技の
イラストを生かした「クレヨン天気」
などを 3 年間担当。その後は在京
キー局でディレクター業を担当し、
昨年まで日本テレビ「DayDay」
や読売テレビ「ウェークアップ」
で気象キャスターを務めた。

また地球温暖化や防災に関する
講演も数多くおこなっている。



プログラム

18:30

開 会

司会

佐伯 和亜 氏

開会挨拶

豊岡河川国道事務所長

澤村 学 氏

豊岡市長

門間 雄司 氏

18:40

基調講演

「荒ぶる気象災害にどう備えるか

～平成 16 年台風 23 号で被災した豊岡で考える～」

東京大学大学院 情報学環 特任教授

片田 敏孝 氏

19:30

パネル
ディスカッション

「台風 23 号を振り返り、台風・洪水に備える」

パネリストの皆様からご発言いただき、
平成 16 年台風 23 号時の対応を振り返りながら、
近年の荒ぶる台風・洪水にどう備えるかを考えます。

20:40

閉 会

兵庫県但馬県民局長

上田 英則 氏